

## 皆様から信頼され続ける企業として さらなる飛躍をめざします



代表取締役会長  
最高経営責任者 (CEO)

鈴木敏文



代表取締役社長  
最高執行責任者 (COO)

村田紀敏

### 強固なサプライチェーンを確認

2011年、日本は東日本大震災により甚大な被害をもたらされました。私たちセブン&アイグループにとりましても大変困難な年でしたが、一方では、いかなる状況下でも安定的に商品を店舗に供給する商品調達力と物流体制、店舗を運営する従業員など、お取引先も含めたサプライチェーン全体での団結力を確認し、グループの強みを活かして社会に貢献できた年であったとも言えます。

### 社会的課題の解決に貢献する事業の創出

震災時の対応にとどまらず、セブン&アイグループは日頃から社会インフラとしての役割を担っています。昨今では社会的課題の解決に貢献することをめざし、例えば買物不便者の増加に対応するために、店舗で扱う商品・サービスの拡充や、商品自体をお客様のより近くへお届けする「移動販売」や「ネットスーパー」に力を入れています。

このような企業姿勢を社内外に表明すべく、2012年4月にグループ統一のブランドメッセージ「新しい今日がある」を発表しました。この中には、昨日とは違う新しさをお客様に感じていただけるよう、私たちが常に新しいことに挑戦し続けていく思いを込めています。これからも、社会的課題の解決と事業とが一体化したビジネスを数多く生み出していきます。

### 2011年以降の注力事項

事業を拡大する中、2011年度はセブン-イレブンを中心に省エネ設備の導入を積極的に行い、環境負荷の低減に努めました。また、事業以外でのCO<sub>2</sub>排出抑制策と

して、2009年度に開始したインドネシアでの熱帯林の保全に続き、2012年度には国内の森林整備活動に取り組むことを決定しました。金銭的支援にとどまらず、森林整備活動への従業員の参加、さらに間伐材を利用した商品づくりなど小売業ならではの取り組みを計画しています。

このほか、2011年度は、ダイバーシティ(人材の多様性)推進のためのプロジェクトを開始するとともに、2012年度には女性社員による店舗運営を開始しました。お客様の7割を占める女性の視点を活かした店舗づくりと、女性をはじめとした誰もが働きやすい職場環境づくりを進めています。

### 国連グローバル・コンパクトへの署名

CSR推進のために、2011年度に関連組織を見直すとともに「企業行動指針」を改定しました。続いて2012年7月には、人権・労働・環境・腐敗防止に関する10原則を定めた「国連グローバル・コンパクト※」に署名しました。傘下会社数や事業規模を拡大しているグローバル企業として、こうした取り組みを通じて、社会に対する責任の大きさを認識し、環境負荷の低減や商品の品質・安全性確保、人材の活用など、さまざまな責任を果たしていきます。

※ 社会の良き一員として、持続可能な成長を実現するために、企業に自主的に10原則を実践することをうながす世界的な枠組み。

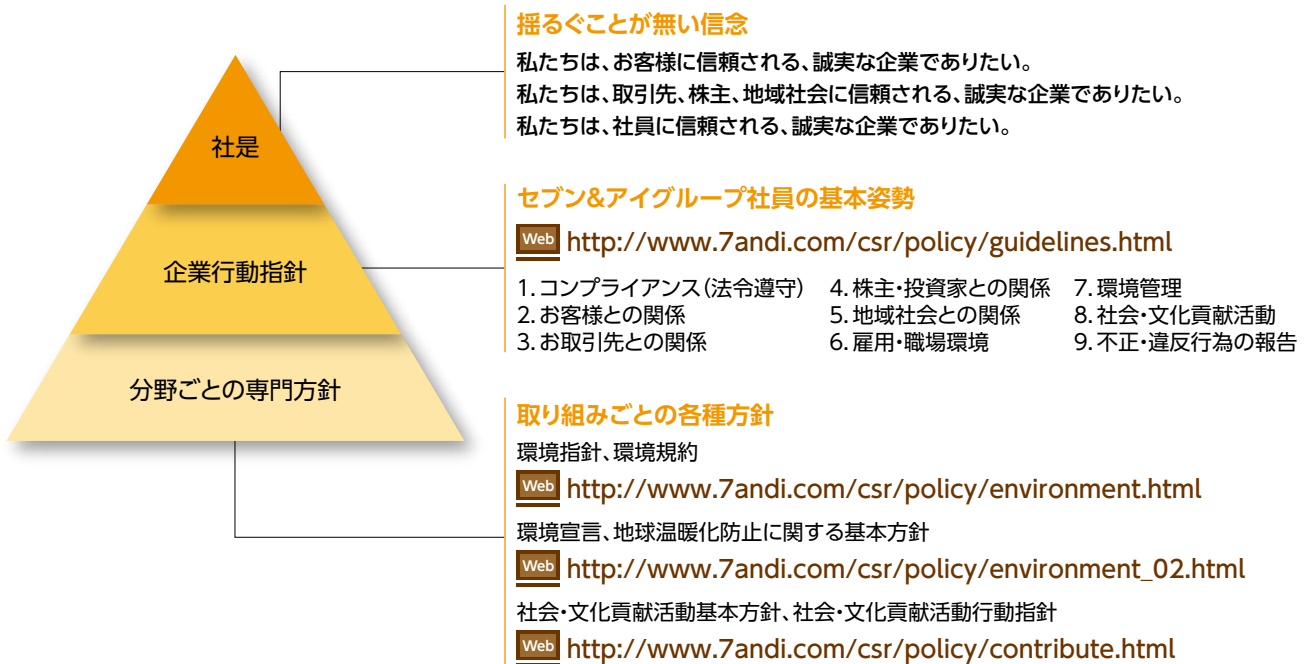


## CSRに関連する方針と重点事項

### CSR推進のための方針

私たちは、全てのステークホルダーに「信頼される、誠実な企業でありたい」という社是に基づいて、事業を営んでいます。その実現のためにとるべき行動を「企業行動指針」として明文化しています。

CSRに関連する方針の関係図



### CSR重点事項

5つの「CSR重点事項」に沿って、活動を推進しています。

※ 本CSRレポートはこの重点事項に沿った構成としています。重点事項に対するこれまでの代表的な取り組みについては、P.8-9に掲載しています。

